

◆[液化石油ガス（LPガス）販売通知書] 交付時の注意事項について

★記載例並びに計算方法

1. 表紙部分

LPガス販売事業者

住 所	〇〇市〇〇町〇〇1-2
名 称	株式会社 〇〇〇〇商店
代 表 者	代表取締役 〇〇一郎
電話番号	022-000-0000

自社（店）の情報を記載する。

自社（店）の緊急時の体制を記載する。
営業時間と休日該当日を記載する。
夜間、休日を委託している場合、記載する。

【緊急時連絡先】

(平日昼間 9:00 ~ 18:00) ※営業時間を記入	
住 所	〇〇市〇〇町〇〇1-2
名 称	株式会社 〇〇〇〇商店
電話番号	022-000-0000
(平日夜間・休日 {第3土曜・日曜・祝祭日}) ※ [] 内に対象日を記入	
住 所	〇〇市〇〇町〇〇11-12
名 称	株式会社 〇〇〇〇センター
電話番号	0120-000-000

2. P3部分

◎「定額法による時価相当額」の計算方法

計算をする場合、消費税の扱いを明確にする。
耐用年数は商品によって異なるため要確認。

$$\text{時価相当額} = A - (A \times \text{償却率}) \times \text{経過月数} \div 12$$

【例】

[条件] Aは設置当初費用（S型メータ）	20,000円
定額法償却率（耐用年数10年）H19, 4以後取得	0.100
経過月数 3年6ヶ月	42ヶ月

※償却率は減価償却資産の償却率表を参照

$$20,000 - (20,000 \times 0.100) \times 42 \div 12 = \underline{13,000\text{円}}$$

時価相当額

3. <別紙>部分

1. 保安業務区分と実施する保安機関

保安業務区分記載の前提条件は、自社（店）が
区分②～⑥の業務を取得していること。

保安業務については、当社（店）が自ら実施するか、次表に記載した当社（店）が委託した保安機関が行います。

保安業務区分	実施する保安機関	住所・電話番号
①供給開始時点検・調査		
②容器交換時等供給設備点検	(株)〇〇商事配送センター	〇〇市〇〇町3-4・022-000-0000
③定期供給設備点検	宮城県LPガス保安センター	仙台市〇〇区〇〇1-2・022-000-0000
④定期消費設備調査	宮城県LPガス保安センター	仙台市〇〇区〇〇1-2・022-000-0000
⑤周知		
⑥緊急時対応	平日昼間	〇〇市〇〇町〇〇11-12・0120-000-000
⑦緊急時連絡	平日夜間・日祝祭日	株式会社〇〇〇〇センター 〇〇市〇〇町〇〇11-12・0120-000-000

本表内には、保安業務を委託した保安機関のみを記載する。

※保安業務を実施する保安機関が変更になった場合は、速やかに詳細を記載した書面（正副）を交付いたします。

2. LPガス設備の所有関係

以下の表に示したお客様の敷地内に設置している供給設備（容器（バルク貯槽含む）からメータ出口までの設備）及び消費設備（メータ出口からガス機器までの設備）は当社（店）所有のものです。そのため、毎月の基本料金の一部として請求させていただきます。

設備区分	設備の内容	数量	設置年月日	設置時費用(税抜・税込)	備考
供給設備	LPガス容器		年 月 日	円	
	調整器	1	2020年 4月 10日	10,000円	耐用年数10年
	ガスメータ	1	2020年 4月 10日	20,000円	耐用年数10年
	供給管(配管)	1	2020年 4月 10日	10,000円	耐用年数13年
消費設備			年 月		

自社（店）所有の設備関係（供給・消費とも）の詳細を記載する。

3. その他設備等の所有関係

以下の表に示す設備等は当社（店）の費用負担で設置し、お客様にご利用いただいております。そのため、毎月のLPガス料金に合算して請求させていただきますのでご了承ください。（三部料金制）

名称	数量	設置年月日	設置時費用(税抜・税込)	備考
ガス警報器	1	2020年 4月 10日	10,000円	期限切れ都度交換
		年 月 日	円	
		年 月 日	円	
		年 月 日	円	
		年 月 日	円	
設備利用料（月額）			税抜・税込	200円

供給・消費設備以外で自社（店）所有の貸与設備を記載する。

【例】ガス警報器は、期限で都度交換する想定

※販売事業者欄に必ず「交付者」を記載してください。